



発行者  
公認心理師  
社会福祉士  
堀川重敏

第15巻 第54号

# ひばり

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見ご希望などの宛先 [horikawassw@gmail.com](mailto:horikawassw@gmail.com)

来週末三月一日は毎年、公立高校の卒業式。

(今年は土曜日であるため前日、二月二十八日挙行のようです)

わたし個人が思い出すのは、当時、長崎の最西端にあった高校の卒業式のこと。勤務した七回の卒業式の毎回、その前日に学校の北側にある広い麦畑の空高く、初ヒバリが上がるのでした。そう、毎年なのです。

うらうらに 照れる春日に ひばりあがり

こころ悲しも 独りし思えば

大伴家持・万葉集

☆

幼稚園・保育園、そして小・中・高校それぞれに如月の、凜と張り詰めた空気の中で子どもたちは、練習とは言え真剣なまなざしで卒業式に備えていることでしょう。

新しく始まる学校生活への期待と不安で臨む入学式の華やかさとは違って、それまでの学び舎での生活を締めくくる卒業式は、先生方の思い入れもひとしおとなります。

放送室から証書授与を見る機会が多かったわたしも、一人ひとりの横顔に三年間の思い出が次々に思い浮かんだものでした。

まだまだ寒波が周期的に訪れる中、子どもたちのためにも支援されているご家族、先生方、くれぐれも健康にご留意いただきたいと願うばかりです。

★

人の心理は必ず、その人の自我を守るためにはたります。それは本能ですが、自我の守り方にはその人の生き方が反映されます。

- ・相手とのトラブルを避けるために自分の主張を控えてしまうという人。
- ・自分の欲求を実現させることを第一に考えて、相手の考えを受け入れない人。
- ・相手の顔色を見て、その都度対応の仕方をかえて自分の考えを貫けない人。
- ・そもそも、人との交わりそのものを避け、トラブルにならないようにしている人。

まだまだ他にも対応の仕方があるでしょう。どれが良いとか悪いとかはありません。みんなそれぞれに対応の仕方が違う、これが多様性だといえます。

☆★

ただひとつ、相手の自分らしさを否定し、自分の考えを押し付ける事だけは避けなければなりません。

誰かのことばや行動を批評することは、誰でもすることです。でもそれを相手に、ことばにして突き付けること、自分の考え方を押し付けることはハラスメントと呼ばれる、避けるべき行為だと知っていて欲しいものです。

